

氷見市阿尾公民館

◆事業の目的

少子化高齢化が進むふるさとで地元資源を活用して元気な地域づくりに頑張っている人たちの活動を体験したり、お話を聞いて故郷を愛する心を育むと共に実体験が子供たちの将来の財産になること期待するもの。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
7月24日(日)	わくわくウォーキング	北八代花蓮畑	56名
8月21日(日)	ほしのふるまち探訪&望遠鏡づくり	藪田公民館	52名
8月28日(日)	親子料理教室	阿尾公民館	30名
9月27日(火)	農業収穫体験(稲刈り)脱穀	北八代地内、阿尾公民館	25名
10月12日(水)	りんご収穫体験	指崎林檎園	25名
10月30日(日)	公民館祭り	阿尾公民館	180名
12月11日(日)	そば打ち体験	八代公民館	33名

◆事業の様子

☆ わくわくウォーキング・・・荒廃田を自力で花蓮畑に復活した地元の名所を折り返し点に6キロのウォーキング。現地ではハスの花のお話と復活への取り組みと意思について熱く語ってもらった。帰館後皆で楽しく流しそうめんをして交流をした。

☆ ほしのふるまち探訪&望遠鏡づくり・・・映画「ほしのふるまち」のロケ地となった藪田地区を訪ね公民館で星のソムリエさんから星のお話を聞きと天体望遠鏡づくりに挑戦した。

☆ 親子料理教室・・・食生活改善委員の皆さんの協力で親子でヘルシー料理体験に挑戦した。地元の食材の一つであるところてん作りを天草から煮出して作った。

☆ 農業収穫体験・・・秋晴れの日、地元のおばあちゃん3人の指導で手刈りとハサ掛けに挑戦。のこぎりカマの扱いもだんだん慣れてきて稲束の作り方など次の作業へ効率よくつなげる技を体験した。

☆ りんご収穫体験・・・地元でりんご園を経験している一家の協力でりんご狩りを体験。子どもたちはりんごの栽培を春から勉強してきており、一本の木に何個成るの、どこへ出荷しているのと質問攻めに。

☆ 公民館祭り・・・小学校の学習発表会と連携して開催し保育園からはカボチャの絵の展覧をしてもらった。また教養講座の舞台発表では全校生徒に新舞踊、日本舞踊を観覧してもらった。

☆ そばうち体験・・・過疎化が進む八代地区で地元のそば打ち名人の指導で特産の自然薯を使ったそば打ちに挑戦し地元の人たちとふれあった。

◆事業の成果と課題

事業に参加した子どもたちには授業では見られない解放された姿が見られたようである。様々な経験や体験は将来の自信へと繋がってってくれるものと期待しています。昨今地域の教育力が無くなっているといわれるが、公民館が学校教育と連携して地域の教育力提供の役割(地域サポーター)を担うとすれば子どもたちの成長過程に合わせた年間を通じた事業を学校側と連携して計画し定着させていくことが重要であると思われる。



わくわくウォーキング



ほしのふるまち探訪



りんご収穫体験



そばうち体験